

こども110番の歯科医院

対応マニュアル

— 子供たちを犯罪被害から守るために —



社団法人 三重県歯科医師会
三重県警察本部
三重県教育委員会

「こども110番の歯科医院」の皆様へ

全国的に子供たちを狙った痛ましい事件が増加しています。

そのため三重県でも、「犯罪のない安全で安心な三重のまちづくり条例（平成16年10月1日施行）」を制定し、犯罪のない安全で安心して暮らせるまちづくりを目指しています。安全な地域社会を維持・確保していくためには、行政機関とともに、住民や事業者自らが防犯活動に取り組み、地域社会全体が安全で安心なまちづくり活動に取り組むことが重要といえます。

このようなことから、三重県歯科医師会では、「社会貢献活動の一環」として、三重県警、三重県、三重県教育委員会のご協力のもと、日本の将来を担う宝である子供たちを守るため、この度「こども110番の歯科医院」の制度を立ち上げることと致しました。

この制度は、子供たちが不審人物につきまとわれたり、声をかけられたりして先生の歯科医院に駆け込んできた場合、対応マニュアルに従って子供を保護し、そして警察への通報等の対応を行うというものであります。

子供たちの笑顔を守り、そして明るい地域社会づくりに少しでも協力していきたいと考えておりますので、ご協力をお願い申し上げます。

平成18年6月

社団法人 三重県歯科医師会
会 長 峰 正 博

1 「こども110番の歯科医院」の役割

こどもたちが登下校時などに「不審者からの声かけ、ちかん、付きまとい行為」等の被害を受けて身の危険を感じたときに、避難場所として駆け込み、歯科医院が一時的に保護して警察に通報（110番）する制度をいいます。

危険とは、犯罪に限らず、いじめや自然災害による被害も含まれます。

例えば、

- 変なおじさんに声をかけられた
- 車にむりやり乗せられそうになった
- 知らない人に後をつけられた
- ちかん被害にあった（あいそうになった）
- 強盗被害にあった（あいそうになった）
- 交通事故にあった

などという場合で、

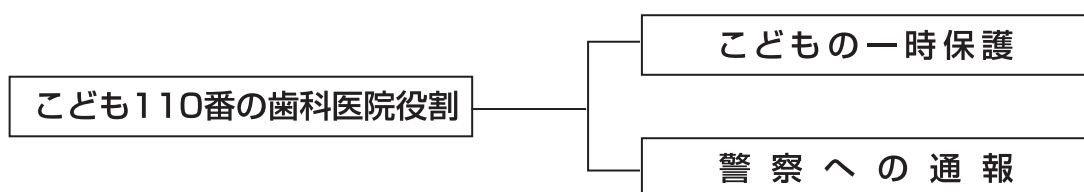
- その犯人（又は不審者）から逃れるための施設（一時避難所）
- 近くに公衆電話等がなく直ちに110番通報ができない時に、気軽に110番通報を行える施設（110番通報施設）

として、お願いするものです。

したがって「こども110番の歯科医院」をお願いする施設の方に対しては、

- 一時避難してきた人を警察官が到着するまでの間、同所で待たせていただく
- 警察への110番通報のために、電話を貸していただく、またはその人に代わって110番通報していただく

ということをお願いするものであり、それ以上の負担を求めるものではありません。



2 「こども110番の歯科医院」の表示方法

「こども110番の歯科医院」の診療所は、不審者（犯人）から逃れるために駆け込んできた子どもたちの安全を確保する場所となりますので、表通りから目立つところ（診療所の入口等）等よく見えるところに「こども110番の歯科医院」ステッカーを掲示してください。

「こども110番の歯科医院」の表示位置は、子どもの目線にあるのが最適です。表示が物の陰になっていないか、道路から見えやすいかなどを点検し、もし見えにくく、障害となるものがあれば、取り除いてください。

また、のぼりは、受付カウンター等に設置し、日ごろから子供たちや、保護者の方々に「こども110番の歯科医院」であることをPRしてください。

【ステッカー】



【のぼり】



3 子供たちが避難してきたとき

① 子供を診療所に入れ、入口の鍵を閉めてください。

不審者(犯人)に追いかけている可能性もありますので、可能な限り、早めに子供を診療所に入れ話を聞いてください。

② まず、自分が落ち着きましょう。

子供たちが避難してきた場合に、話を聞く側の皆さんが慌てたり、興奮していると、子供たちは、ますます興奮してしまいます。

まずは、皆さんが落ち着いて、何があったのか子供たちから話を聞いてください。

③ 子供たちを落ち着かせましょう。

避難してきた子供たちは、危険な場面に遭遇し興奮しています。

子供たちに「もう大丈夫だよ!すぐ110番してあげるから安心して!」などと優しい言葉をかけて落ち着かせてあげてください。

④ 何があったのか、何をしてもらいたいのかを聞きましょう。

どうして避難してきたのか確認してください。

- 知らない人に声をかけられたり、つきまとわれたのか。
- ちかんの被害に遭ったのか。
- 病気で我慢できないのか。
- トイレや電話などを借りに来たのか。

子供たちの話をよく聞いてあげましょう。

いずれの場合でも、警察や家族などがすぐに来ることを説明し、子供たちを安心させてあげてください。

⑤ 事件の疑いがある場合

子供たちが、

- 知らない人に声をかけられた、つきまとわれた。
- 車に乗せられそうになった、追いかけられた。
- ちかんの被害に遭った。

などの事件の疑いがある場合は、すぐに110番通報してください

◆ 子供から聞く内容 (こどもの状況にあわせて対応してください)

(子供の興奮が収まらないときは、親になった気持ちでやさしく接してあげてください。)

何があったのか？

不審者につけられたのか、痴漢にあったのか、交通事故なのか等、何があったかをまず聞き出してください。

いつあったのか？

今起こったのか、いつごろのことなのか聞いてください。

どこであったのか？

町名や目印となる建物等、場所を聞いてください。

どんなことがあったのか？

連れ去られたり、ケガをした子供がいるのか等を聞いてください。

不審者(犯人)の特徴は？ (子供の状況に合わせて可能な範囲で結構です)

人数、性別、年齢、身長、体格、服装、髪型、使用車両(自動車・単車・自転車の色、型、ナンバー等)、凶器(ナイフ、包丁、鉄棒等)の有無等の特徴を聞いてください。

不審者(犯人)はどこにいるのか？

不審者(犯人)はまだいるのか、あるいは別の場所に向かったか等、逃げた方向について聞いてください。

子供の住所・名前？

駆け込んできた子供の住所、名前、保護者の名前、学校、学年、連絡先について聞いてください。

◆ 110番通報の要領

警察官に「こども110番の歯科医院」であることを伝え、あなたの住所、名前、電話番号を話してください。

(例 示)

こちらは、「こども110番の歯科医院」の
〇〇市〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号の
「△△歯科医院」ですが、
今、□□ 〇〇ちゃんが、

- * 声をかけられた
- * つきまとわれた
- * 手を引っ張られた
- * その他()

と言いながら、私の歯科医院に駆け込んできました。

(※以後は、対応した係員の質問にお答えください。)

あせらず落ち着いて、警察官の質問に答えてください。

警察官があなたからお聞きする内容は、おおむね前頁のとおりです。

◆ 110番通報が終わったら

110番通報が終わっても警察官が到着するまで、子供たちを待たせてください。

危険が去ったと判断し、安易にこどもを屋外に出さないように注意してください。

子供たちから警察官が直接話を聞きます。

⑥ 事件の疑いがない場合

◆ 思いやりを持って子供たちに接しましょう。

子供たちが、

- 水を飲ませて
- トイレを貸して
- お腹が痛い
- 自転車がパンクした
- 電話を貸して
- 雨が降り出してやむまで待たせて、雷が怖い

と駆け込んでくるなど、事件でない場合でも思いやりを持って接してください。

◆ 具体的な行動をとりましょう。

状況によっては、

- 一時的に場所を提供
- 保護者、学校などへの連絡
- 救急車の手配

など具体的に行動し、問題を解決してあげましょう。

※ 助けを求めてきた子供のことやその内容をむやみに他人に話すと、子供の心を傷つけたりプライバシーの侵害となりますので、十分にご注意ください。

4 不審者(犯人)が子供たちを追いかけてきたとき

- ① 子供を診療所に入れ、入口の鍵を閉めてください。
- ② 自分で犯人に立ち向かおうとせずに、すぐに110番してください。
- ③ 犯人が襲いかかってきたときなど、やむを得ず、犯人に対処せざるを得ないときは、消火器、ほうきなど身近にあるものを活用してください。

子供たちと5つの約束

子供たちの安全のために、子供と「5つの約束」をしましょう。

- ① 知らない人にはついて行きません。
- ② だれかにつれていかれそうになったら「たすけて」と大声で助けをよびます。
- ③ 一人では遊びません。
- ④ 遊びに行く時はどこで、だれと遊ぶか、家の人に言ってから出かけます。
- ⑤ 友だちが知らない人につれていかれそうになったら大声で助けを呼びます。

環境の再点検をお願いします

子供たちが、犯罪や事故に遭いやすそうな場所はありませんか。

地域の環境を再点検してみましょう。

また、安全マップなどを作成して活用しましょう。

地域の皆さんで

- 公園・空き地・人通りの少ない路地などで、一人遊びをしている子供を見かけたときは、声をかけて注意しましょう。
- 子供の様子をうかがう、車から子どもに話しかけるなどの不審者を見かけたら、子供を守り、すぐ警察に連絡しましょう。
- 車などで子供が連れ去られそうになっているのを見かけたら、大声で近くの人に知らせ、110番通報をしてください。

110番通報内容チェック表

項目	内 容	
1.何があったのか	<input type="checkbox"/> 車にむりやり乗せられそうになった <input type="checkbox"/> 知らない人に後をつけられた <input type="checkbox"/> 痴漢の被害にあった(あいそうになった) <input type="checkbox"/> 強盗被害にあった(あいそうになった) <input type="checkbox"/> 交通事故にあった <input type="checkbox"/> その他	
2.いつごろのことか	<input type="checkbox"/> 平成 年 月 日 午前・午後 時 分 ころ <input type="checkbox"/> 今から 分 くらい前	
3.場所はどこか	<input type="checkbox"/> 平成 年 月 日 午前・午後 時 分 ころ <input type="checkbox"/> 今から 分 くらい前	
4.どんな状況だったか	<input type="checkbox"/> 誰か怪我をした者はいるか (いる・いない) <input type="checkbox"/> 連れ去られたりした者はいるか (いる・いない) <input type="checkbox"/> 救急車の必要があるか (ある・なし)	
5.犯人(不審者)の特徴、車両について	犯人(不審者)の特徴	<input type="checkbox"/> 犯人(不審者)の人員は 男 人 女 人 <input type="checkbox"/> 身長は センチくらい <input type="checkbox"/> 体格は やせ形 中肉小太り <input type="checkbox"/> 肥満型 ガッチリ型 <input type="checkbox"/> ヘアスタイルは <input type="checkbox"/> 服装は <input type="checkbox"/> 上着 <input type="checkbox"/> ズボン <input type="checkbox"/> 履物 <input type="checkbox"/> その他
	車両か徒歩	<input type="checkbox"/> 歩いていた <input type="checkbox"/> 車両を使用していた <input type="checkbox"/> 二輪車 <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> 大きなオートバイ <input type="checkbox"/> スクータータイプのオートバイ <input type="checkbox"/> スーパーカブタイプのオートバイ <input type="checkbox"/> 原付バイク <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 四輪車 <input type="checkbox"/> 乗用車 <input type="checkbox"/> ライトバン <input type="checkbox"/> ワゴン車 <input type="checkbox"/> トラック <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 車両の特徴 <input type="checkbox"/> 車体色 <input type="checkbox"/> ナンバー <input type="checkbox"/> 車名 <input type="checkbox"/> その他の特徴
	逃走方向は	<input type="checkbox"/> 車両で <input type="checkbox"/> 町方向に逃げた <input type="checkbox"/> あるいて